



資料 令和6年度 松川高校の重点的教育活動の取り組み(4月～11月)

今年度の重点目標5項目(①～⑤)に関する具体的な取り組みを、各項目につき数点示しました。

重点目標(中長期的目標)

自主的な規範意識を育み、確かな学力を養うとともに、豊かな心と生きる力を備えた生徒を育成する。

①一人一人の生徒が尊重され、安心・安全で活力ある学校生活を保障する に関わる取り組みとして

I：各運動部が日々の練習で培った力で各種大会に出場し、空手では県大会に出場しました。一方、文化部では、ボランティア部が花を送る活動を続け、「満蒙開拓平和祈念館」の展示及びガイドボランティアを行ったり、松川町内で子ども食堂の活動支援を行ったりしています。これら以外の文化部も、吹奏楽部、美術部など、地域との交流を積極的に行い活動しています。また、生徒会では、松川町内の保育所に花を届ける活動を行うとともに、生徒自ら制定した「スマホルール」の見直しも含め、全校ディスカッションを行うなど、精力的な活動を行いました。また、松川町内の商店街活性化に向けた取り組みの検討を進めています。

II：災害や列車の運行変更等の緊急連絡を生徒・保護者へ届けるために「安否確認・連絡網システム オクレンジャー」を運用した。また、統合型校務支援システムにより、職員間の密な連携・確実かつ迅速な情報の共有化を図っている。

②生徒それぞれの進路実現に必要な学力の定着と、学ぶことの大切さ、楽しさを伸ばす 授業づくりをすすめる に関わる取り組みとして

I：入学時より、英語ではマナトレを導入し、小中学校でつまづいた部分を「学び直し」することによって基礎学力の定着を図っている。また、「基礎力診断テスト」を実施することで、進学者の学力向上はもちろん、就職希望者にも基礎学力の重要性について意識を高めることができた。さらに、各教科でキャリア教育の視点を意識した授業改革に努めたり、総合的な探究の時間やロングホームルームを利用してよりよい進路実現に向けて学習や説明会等を行った。今後、1学年キャリアデイのまとめとして「総合的な探究の時間」でグーグルスライドを使用した発表をおこなうことになっている。更に、3年生の就職・進学者に対しては、試験前には受験対策、進路決定者には卒業後の学力保障のための個別補習を実施している。

II：3年課題探究エリア「生活教養」では、調理実習の実施方法を工夫して学習内容の充実を図っている。3年人文科学・課題探究エリア「日本史探究」では、調べ学習やレポート作成、プレゼンテーションを行いながら、歴史についてより深く学び生徒の発信力をのばす授業を行っている。さまざまな媒体を使用しながら情報活用能力等を養うとともに、発表やふりかえりも行いながら、探究学習を行っている。2年共通の「歴史総合」では、講義内容からさらに発展した課題に個人やグループで取り組み、歴史を学ぶ意義について1年間を通して考える。歴史の重なりを意識しながら、次年度の探究学習へつながる基礎定着も目標としている。3年人文科学、自然科学エリアの必修「英語探究」では、既習の文法をベースに文章の内容を理解し、構文の基礎的な知識の定着を図っている。またALTとのTTを通して、リスニング力や自己表現力の向上も目指している。

III：ビジネス計算検定、簿記検定、ワープロ検定、情報処理検定、英語検定、漢字検定などの資格取得に多くの合格者を出すことができた。「生活教養」では、家庭科食物調理技術検定4級を実施した。

IV：9月に「匿名性を担保した授業中間評価アンケート(生徒・職員)」を実施。各授業の評価と生徒自身の授業に対する取り組みについて全校生徒対象に実施し、授業担当者は授業を振り返る機会とし、教科会等で授業改善について検討し、改善に努めるとともに、生徒も自分の授業への取り組みを見つめ直す機会としている。

③生徒の個性と能力を伸長させるキャリア教育と進路指導を实践する に関わる取り組みとして

I：各学年で進路ガイダンスを実施し、3学年は進路実現に向けた実践力を養成し、1・2学年は自らの進路を考える機会を提供した。

II：1学年生徒は進路希望別に大学・短大・専門学校あるいは地元企業の見学をし、2学年生徒は職場体験を行い、今後の進路選択・進路実現のための考察の機会を得た。

III：学力向上に向けて、休業中や放課後の補習授業や個別指導及び模擬試験を計画、実施した。

IV：各学年の進路ガイダンスにおいて、外部講師による生徒向け講習を実施し、将来の職業選択についての理解・関心を深めるとともに、職業観や人生設計を考察する機会を提供した。

V：3学年の進路指導に関しては、ハローワークはじめ各種行政機関、各種進路指導外郭団体と連携し、生徒一人ひとりに対する細心かつ綿密な指導を展開してきた。

④生徒の主体的な活動を支え、自己肯定感を高め、生きる力を育む に関わる取り組みとして

I：スマホルール班やLD班、各委員会活動を通して、全校生徒を巻き込んで活動しようと会長・副会長、役員が中心となって、全校生徒への呼びかけや協力をお願いする場面が増えた。これにより、松川高生が自分たちでよりよい学校生活を送るために、考え実行できるようにしていきたいと考えている生徒が増えた。さらに、生徒も教員も保護者も地域の方も満足できるような学校づくりをしたいと願い、それぞれ意見を出したり連携したりすることで、組織として動くこと、自分の役目を果たすことなどを意識する生徒が増えた。

II：今年度も昨年度に引き続き、①松川町役場に花を植える活動 ②松川町の保育園に花を届ける活動 ③松川高校に花を植える活動の3点を実施することができた。多くの方のご協力をいただきながら、松川町内を中心に、花を通じて様々な方と交流することができた。生徒会役員だけでなく、多くの生徒が自主的に参加する様子も見られ、生徒の主体性を尊重する活動にもなった。来年度も引き続き、松川町を花で溢れさせるような活動を主軸にし、生徒数が減っても持続できるような主体的な活動にしたいと考えている。

III：文化祭では、コロナ明け初めての制限がない文化祭を開祭することができた。文化部の展示やステージ発表の他に、クラス・学年・生徒会展、体育館ステージにて様々な企画を行うことができた。PTA・地域の皆様や飯田市教育委員会、ケーブルテレビ等のご協力をいただくために生徒自ら行動することができた。準備から本番に至るまで、生徒達は様々な障壁に対してあらゆる手立てを考え、実行し、解決していくことで、後夜祭での打ち上げ花火まで無事やり遂げることができた。この課題解決の経験を通して「生きる力」を身につけることができたと考えている。文化祭後のふりかえりでも9割以上の生徒が課題解決力を身につけることができたと回答している。

IV：1学期の「全校憲法学習」では、1、2年生は成人年齢が18歳に引き下げられたことによって変更される義務について学び、3年生は憲法に保障されている労働者の権利について学んだ。また、2学期の人権学習ではろうあ者をめぐり、普遍的なイジメの構造やそれを克服する様子について描かれた映画を通して人権とどう向き合うかを学び、平和学習においては「平和」という概念を広げるためにSDGsの取り組みを調べ、自己の意見や他者の考えを共有することができた。

V：「中学生の体験入学」（7/25木）では、生徒会役員が全体会進行をはじめとして、例年のように準備・受付・案内を行うとともに、パワーポイントを使って学校生活の説明を行った。また、各エリア代表の3年生4名がエリアの説明と進路学習の体験談を発表。本校の魅力が伝わるよう生徒会が中心となり活躍する姿が見られた。参加した中学生からは、「生徒が中心となって映像を使って高校生活をわかりやすく説明してくれた。」とのアンケート回答が多く寄せられた。

VI：職員によるJR乗車指導・駅におけるマナー指導及び文化祭準備期間および後夜祭後の下校指導を実施した。

⑤地域に開かれた学校づくりを進め、自己表現を通じて社会に貢献できる生徒を育成する に関わる取り組みとして

I：中学生向けに「フルーツバスケット」（活動インフォメーション）の発行は、1回に留まってしまった。「学校要覧」の内容充実を図るなど開かれた学校づくりにつとめた。

II：環境整備事業(6/22)の実施、松高祭(7/6)への協力、強歩大会(10/4)の支援を多くの保護者の協力を得て実施した。今年度はブロック、厚生部が廃止され組織のスリム化が図られてなかでの活動であった。昨年までは、各部に分かれて活動をしていたが、今年は各部の垣根を超えて、各行事の支援を行うことができた。

III：【生徒会】昨年度に引き続き、松川町内の全保育園へ花を植えたプランターを届ける活動を行った。全ての保育園ではないが生徒会役員と保育園児との花植えを含めた交流の時間を取ることができた。また、例年行っている松川町役場花壇の花植え作業は、生徒会役員を中心に実施することができた。

【ボランティア部】13年目となる東北支援継続活動「花という笑顔を東北へ」は、松川町民の皆様の協力を得ながら今年度も実施し、東北各地へペチュニアなどの苗を送付した。また、町内の小中学校、役場、公民館、社協などで町民の方々と一緒に育てた苗を植えることができた。また、今年度は能登半島の被災地訪問を行い、被災地の方との交流を深めた。「満蒙開拓平和記念館」では、高校生展示ガイドを継続した。またその活動は、報道機関の取材を受ける等、地域の方々にも注目された。その他の活動として、松川町内のりんご農家へのボランティアや「子ども食堂Hug」での学習支援を行った。

【野球部】9月17日（火）松川町大島保育園の運動会を前に、1・2年生男子部員が園庭整備に協力した。

【吹奏楽部】9月8日（日）「松川町音楽祭」に出演し、少人数ながら息の合った演奏を披露することができた。また、合同演奏にも参加し、町内の音楽団体との交流を深めた。

IV：4月・6月・9月・12月の「授業公開」は、年度当初計画した4回を公開した。そのうち12/5は、中学3年生とその保護者・中学校教職員対象の「進路相談会」として実施し、授業参観・入学者選抜の説明・部活動見学等で、志望校決定に際して本校をさらに知っていただく機会とした。前期選抜での従来との変更点を中心に説明したが、今年度からの2クラス80人募集に伴い、参加者数も減少傾向にある。

V：県立高校全校で実施している「匿名性を担保した学校評価」では、生徒・保護者・学校評議員・職員を対象にアンケートを実施した。これらの結果を基に学校評価および次年度の学校目標の設定を行っている。アンケートについてはSNS（オクレンジャー）やグーグルクラスルームを利用し、スマートフォン・タブレット等で回答できるようにし、多くの方々に答えていただけるように努力している。